2　地理歴史・公民

学校番号	3010

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	現代の世界史（山川出版社）						
副教材等	ダイアローグ世界史図表（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

・諸資料集に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を近現代史を中心とする歴史と結び付け、歴史的観点から考察することができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：資料活用の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に研究するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート　ノート 授業観察　授業参加度 発問	定期考査 ノート　ワークシート レポート提出とその内容	定期考査　授業観察 ワークシート　ノート 調べもの学習など	定期考査 ワークシート 課題、レポートの内容

※上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界史へのいざない　人類の歴史の始まり	・日本列島の中の世界の歴史 ・人類の誕生 ・農耕牧畜の開始 ・文明の発生	○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a：自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 b：設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 c：設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：設定された主題について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	授業観察（全単元で行う） ワークシート
	諸地域世界の特質	・東アジア世界 ・南アジア･東南アジア ・西アジア世界 ・陸と海の交流	○ ○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a：四大文明などの諸文明の特質性と、その交流について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b：文明同士の交流の特質性を見出し、地域世界相互の文化変容などと関連付けながら、多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 c：必要な資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：諸文明と交流の特質性を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	アジア諸国の繁栄	・モンゴル帝国の形成と解体 ・東アジア東南アジア諸地域の変動と再編 ・近世の日本と世界 ・イスラーム世界の再編成	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ 	○ ○ ○ ○	a：モンゴルを中心に西アジアや内陸アジア、東アジア、ヨーロッパなどがつながり始め、世界の一体化の始まりが起こることに関して関心を高め意欲的に追求しようとしている。 b：各アジア世界の結びつきと交流に触れ、世界の一体化が進む中での日本への影響とその役割を多面的・多角的に考察する。 c：東西交流、文化の接触と交流などの資料を積極的に収集し自らでまとめたりできる。 d：モンゴル・中国・イスラーム世界の展開で作られた東西交流の状況や世界の一体化に日本が果たした役割などについて理解できている。	定期考査 ワークシート レポート

※表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
	世界の一体化とヨーロッパ	・大航海と世界の一体化の始まり ・１６世紀の西ヨーロッパ ・１７～１８世紀の西ヨーロッパ ・西欧を中心とする世界の一体化	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a：大航海時代の展開と世界の結びつき、ルネサンスや宗教革命などが影響について関心を持ち意欲的に追求しようとしている b：時代が移り変わっていく世界について、社会変化をはじめとした各国の変化を多角的、多面的に比較しながら考察し、表現することができる c：大航海時代の航路図やルネサンスにおける芸術作品、文学作品、思想などに関する資料を適切に収集し、活用することができる。 d：大航海時代の展開による世界の結びつきや交流における世界の変化、ルネサンスによる文化的な進展、東西ヨーロッパ諸国の歴史展開の行方について理解している。	定期考査 ワークシート
2学期	近代の欧米社会	・イギリス産業革命 ・アメリカ独立戦争 ・フランス革命 ・反動と改革 ・ナショナリズムの時代 ・南北アメリカの道	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:18 世紀後期以降の世界の様子について、社会変化と新たな社会の成立、ヨーロッパによるアジアやアフリカ、ラテンアメリカの変化に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている b:諸地域世界の変化の特質を見出し、１９世紀以降の世界の一体化と関連付けて多面的多角的に考察できる c:諸地域世界の変化に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取り、図表にまとめることができる。 d:諸地域世界の変化についての基本的な事柄を後の世界の一体化と関連付けて理解している。	定期考査 ワークシート
	ヨーロッパの進出とアジア	・バルカン西アジア社会の動き ・インド東南アジアの植民地化 ・東南アジアの動揺 ・東アジア国際秩序の変容	○ ○ ○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:１８世紀に始まったヨーロッパ諸国のアジア進出と１９世紀に植民地やそれに近い状況に追い込まれたアジアの状況について関心を高め、意欲的に追究しようとしているか。 b:植民地支配への抵抗運動の高まりや日本の開国後の近代化政策などについて多角的多面的に考察ができる c:当時のアジアの状況や開国後の日本の状況とその対応に関する資料を収集し、アジアの変化とヨーロッパ世界の進出による変化について図表や文章でまとめることができる d:アジア諸国の状況、植民地化による従属化の過程での抵抗、日本の近代化の動きが与えたアジア諸国への影響について考え、理解している。	定期考査 ワークシート

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
3学期	帝国主義とアジアの民族運動　二つの世界大戦	・欧米による世界の植民地化 ・民族運動と列強の対立 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制と欧米諸国 ・民族主義の新展開 ・世界恐慌とファシズム ・第二次世界大戦	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:１９世紀半ばから２０世紀半ばに至る欧米列強の事情とアジアの民族運動、第一次世界大戦から第二次世界大戦の終結といった内容について関心を高め意欲的に追究しようとしているか。 b:社会の急激な変化を念頭に置きつつ、民族運動高揚の原因や第二次世界大戦の展開やその意義について考察し、現代社会とどのように関連しているかを表現できる。 c:列強の植民地支配や国境、世界恐慌の原因と各国の対応策などについての資料を収集し、図表にまとめたり文章で表現ができる。 d:２０世紀における基本的な事柄をはじめ、二つの大戦の原因や両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解している。	振り返りシート ワークシート レポート
	冷戦の時代	・冷戦の形成と第三世界の登場 ・核戦争の危機 ・多極化と緊張緩和 ・冷戦の変質 ・冷戦の終焉 ・冷戦下の日本	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:冷戦の形成とその展開、冷戦下の中での世界や特に日本の動きについて関心を高め、意欲的に追究しようとしているか b:米ソ両陣営の対立や民族運動と植民地支配からの独立、２０世紀後半の日本について冷戦の影響を踏まえて多面的多角的に考察ができる。 c:アジア・アフリカの民族運動や植民地支配からの脱却、世界経済に関する資料を収集し、図表にまとめたり、文章にしてまとめたりできる d:冷戦中、または冷戦終結以後の国際関係についてや多極化と諸地域の動向について地域ごとに整理して理解できている。	定期考査 ワークシート 振り返りシート レポート

※表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解